

第22回大和高田市立病院 ICLS コース報告

ICLS WG

- 日 時： 平成 30 年 6 月 23 日（土）
- 対 象 者： 全職種
- 参 加 者 数： 受講者：18 名（医師 4 名 看護師 11 名（院内 5 名）理学療法士 1 名 放射線技師 1 名〔院外〕救命士 1 名）
インストラクター 28 名 タスク 4 名 計 50 名
- ね ら い： 突然の心停止に対する**最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生**を習得する
- 目 標： 1. 有効な胸骨圧迫ができる
2. 安全・迅速・確実な除細動を行うことができる
3. 適切な酸素化をはかる方法を知ることができる
4. チーム蘇生の大切さを知る

〈内容〉

当院開催の日本救急医学会認定 ICLS コースも今回で 22 回目を迎えました。

今回のコースディレクターは、奈良県立医科大学付属病院の中野知哉先生、サブコースディレクターに当院内科医笹岡宗史先生が担当されました。受講生の所属は 6 施設、5 職種の方々、また、インストラクターに三重県の看護学校の先生や救命士さんの参加もあり、情報交換の場にもなりました。

終了後のアンケートでは、「質の高い胸骨圧迫がいかに大事かわかった」「BVM、胸骨圧迫が出来ていると思っていたが、有効なものでなかった事に気付いた 修正も出来たのでよかった」「苦手意識のあった心電図波形がわかるようになった」「自身（理学療法士）が通常では対応しない役割を経験することで、救命するための流れを知ることができた」「関わったことのなかった気管挿管の介助の方法を十分に学ぶことができた」「このような体験型の講習会が増えて、多くの人に受けてもらいたいと思った」「一人の限界を感じ、チームで行動したときのパワーを感じた」「多職種混合での講習会で違う視点から色々な意見を聴けてとても有意義だった」等々、このコースの目標としていたことが達成できたと感じました。終了時には達成感を感じて頂けたと思いますが、継続して学習することが、日々の実践に繋がると思います。継続しての参加をお勧めします。



次回開催は 12 月 22 日（土）を予定しています。

みなさんおつかれさまでした！